



【学校教育目標】

# Treasure Island



笑顔いっぱい

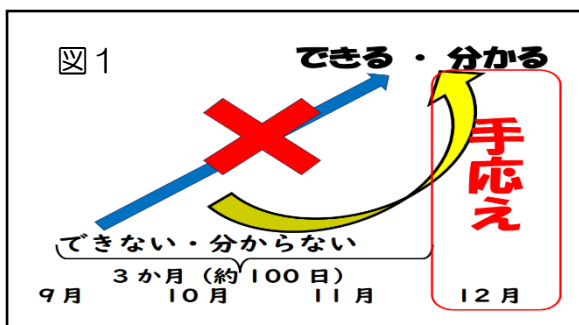
～気づき、考え、行動する 高島っ子を育てる～

長崎市立高島小中学校 校長 宇土 衛

## 100日の努力

10月の全校集会・校長講話において、「できない・分からない」ことも、頑張れば「できる・分かる」ようになる！という話をしました。

人は機械ではないので、学んだこと、教わったことがそのまま定着するわけではありません（青色直線）。下図1に示すように、「できない・分からない」という時期がしばらく続き、ある時からグンと成長していくのです（黄色曲線）。その努力の期間がおおよそ「100日」、約3ヵ月だそうです。つまり、2学期で例えると、9月～11月くらいまでしっかりと努力を重ねれば、12月にはグンと伸びる手応えを感じることができるわけです。



子どもたちは、この話を真剣に聞いてくれました。2学期の合言葉は「やる気・根気・元気」。ぜひ、やる気を持って、根気強く、体調に気を付けながら頑張りたいと思います。

また、夏休みに先生方と話し合い、2学期の重点目標を【すべての子どもたちに基礎基本の定着と、確かな学力の向上をめざす】

としました。本校の先生方は、それぞれの持ち味を生かした学級経営や授業を展開しています。さらに、子どもたちに確かな力を身に付けさせるために、研鑽を深めています。学年の違いや経験年数に関わらず、互いに授業を開き合い、自らの指導を高めることに真摯に向き合っているのです。

ご承知のとおり、子どもたちの育ちと学びの成長の場は、学校だけでも、家庭だけでもありません。地域社会も含め、社会総がかりで行われるものです。その中でも、家庭の教育力の高さは本校の強みです。学校の教育活動に協力的であること、子どもたち一人一人が笑顔で学校に登校できること、忘れ物が少ないこと、提出物が揃うこと、それぞれの家庭で特色ある教育が行われていることを感じます。家庭教育のベースがあるからこそ、学校での生活や学習が成立するのです。

子どもたちの努力を支えるのも家庭・学校・地域社会が連携して行う必要があります。現状、大変いいバランスで連携できていると思います。その潤滑油はお互いへの「信頼」だと感じています。

もちろん、課題がないわけではありませんが、今の「好循環」を保ちつつ、さらに質の高さを求めて、子どもたちの教育に全力を注ぎます。